

7. 地域別計画

7.1 具志川地域のみどりの方針

7.1.1 地域の現況

【概要】

具志川地域は、地域の内陸部に位置する県道 75 号線（沖縄石川線）、県道 8 号線、県道 85 号線（沖縄環状線東）の沿道に市街地が形成されており、商業の集積地ともなっています。また、中城湾港新港地区には工業の立地が進んでいます。

一方、沖縄市との市境や金武湾沿岸に豊かな自然が残り、集落が点在しています。市街地の拡大によってみどりが減少しており、残された緑地の保全が必要です。



【みどりの現況】

本地域には、東西に伸びる天願川等の豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれており、グスク等の歴史文化資源も多く点在しています。

土地利用の状況は、宅地の利用が最も多く 26.8%となっています。自然的土地利用が 41.7%に対して、都市的土地利用が 58.3%であり市街地化が進んでいます。

公園・緑地は都市公園が 51.40ha、公共施設緑地が 20.85ha と 4 地域の中で最も多くなっています。一方、一人当たり公園面積は 9.35 m²/人と 4 地域の中で最も少ない状況です。

市全体のみどりの総量に対する割合を見ると、都市公園が 1.381%、公共施設緑地が 0.560%と 4 地域の中で最も多くなっています。

表 7.1 公園・緑地の状況（具志川地域）

項目	都市公園 (最大(供用))	公共施設緑地 (その他の公園)	一人当たり 公園面積	人口 (令和 2 年国勢調査)
具志川地域	51.40ha (51.26ha)	20.85 ha	9.35 m ² /人 (9.33 m ² /人)	77,312 人
市全体のみどりの 総量 (3721.88ha) に対する割合	1.381% (1.38%)	0.560%	—	—

※市全体の一人当たり公園面積 12.07 m²/人（令和 2 年（2020 年））

出典：都市公園：（最大：未開園面積含む）うるま市資料（令和 4 年 7 月 28 日現在）、うるま市公園整備プログラム（平成 27 年 3 月）、公共施設緑地：うるま市公園整備プログラム（平成 27 年 3 月）、うるま市資料（令和 4 年 7 月 28 日現在）

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化び地の目標

5. 推及緑進び地の緑の方針の全

6. の推及緑進び地策の緑の方針の全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計画て実現に

10. 巻末資料

7.1.2 みどりの特性

基本方針（「守る」「育てる」「つくる」「広げる」）に基づき、みどりの特性を示します。

【守る】

- 下原地区の斜面緑地帯、天願川等の生物多様性を育む自然環境が存在します。（生物多様性）
- 州崎のマングローブや天願川の水辺環境の保全、再生などを行う緑化団体が活動しています。（市民協働）

【育てる】

- 具志川運動公園、安慶名中央公園、野鳥の森公園、ゴルフ場等のまちづくりと連動したみどりが広がっています。（観光レクリエーション）

【つくる】

- 安慶名城跡、安慶名闘牛場等の美しい景観や、培われてきた歴史文化などの個性を活かし、まちの魅力を高めるみどりがあります。（景観・歴史文化）
- 本庁舎前のハウオウボク並木道や具志川商業高等学校前のアカギ並木、学校施設や商業施設等の緑化空間等のまちの個性を生かしたふれあいのあるみどりがあり、市民や来訪者が交流し、憩えるまちとなっています。（市民協働・意識啓発）

【広げる】

- 天願川や州崎の海水路等の地域住民等による清掃活動や生物観察会等の活動が行われ、地域のコミュニティに資するみどりがあります。（意識啓発）

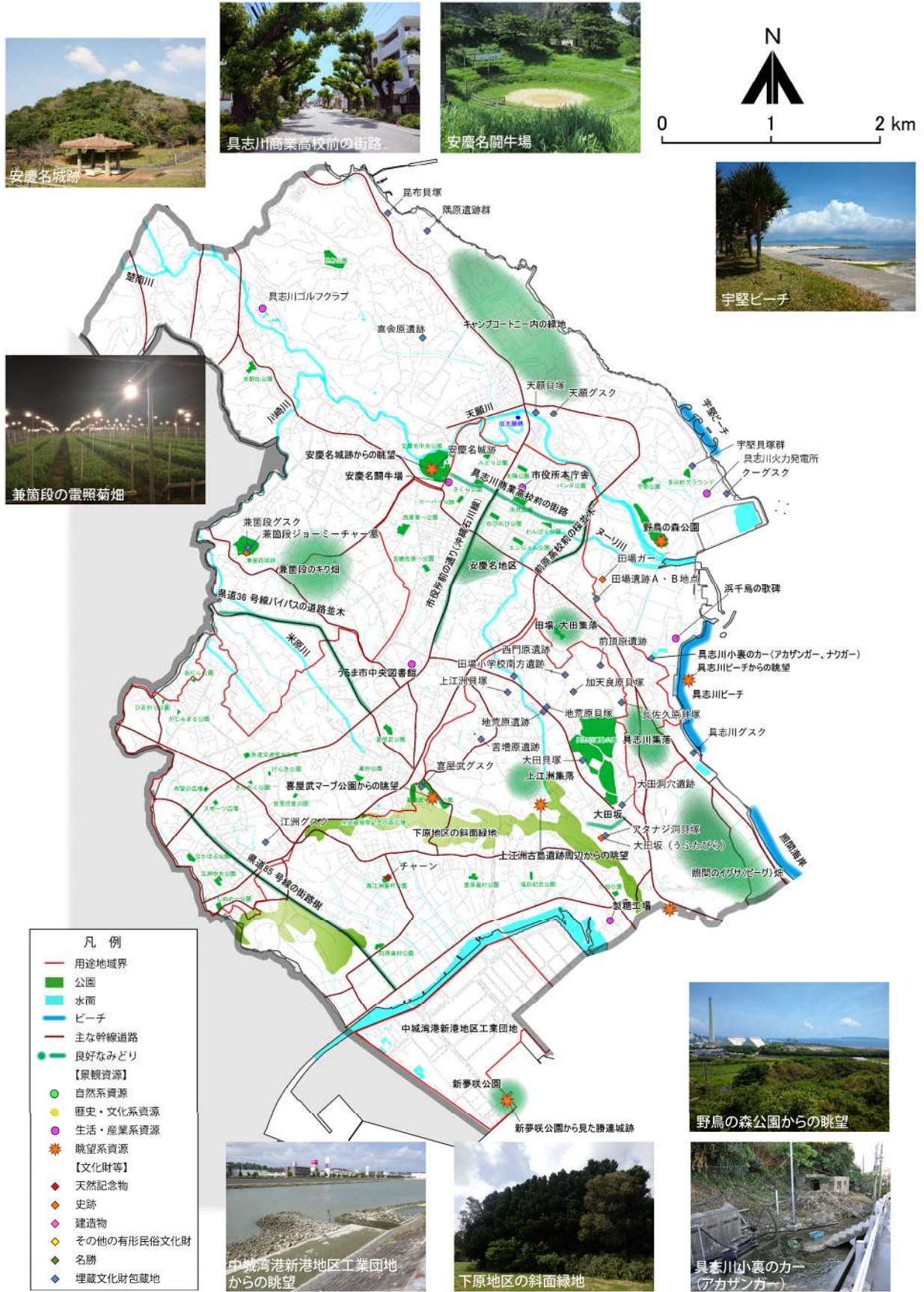
みどりの特性

第2次うま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

「景観の向上」 ・ 緑で華やかになる。
 「精神面の安定をもたらす」 ・ 芽が出ると嬉しい。 ・ 情緒を育てる。 ・ 緑はなごむ。
 「環境へ好影響」 ・ 緑は気温を下げる。 ・ 緑はきれいな空気をつくる。

表 7.2 主なみどりの資源（具志川地域）

項目	主なみどりの資源
樹林地	下原地区の斜面緑地帯、点在する自然緑地（小さな森や山）
農地	具志川のビーグ田（い草田）・水田、兼箇段の電照菊畑等
河川	天願川、川崎川、ヌーリ川、米原川、楚南川
海岸・海浜	金武湾及び中城湾の海岸・海浜、州崎の海水路、宇堅ビーチ等
歴史・文化	安慶名城跡、田場ガー、大田坂、旧天願橋、安慶名闘牛場等
屋敷林	フクギ屋敷林（天願、大田等）、高江洲小学校のクワディーサー等
道路（街路樹）	本庁舎前のハウオウボク並木道、具志川商業高校前のアカギ並木道等
公園・緑地	具志川運動公園、安慶名中央公園、野鳥の森公園等
民間施設緑地	ゴルフ場
施設緑化（公・民）	庁舎、学校教育施設、発電所、大規模商業施設等
良好な眺望点	喜屋武マープ公園、上江洲古島遺跡周辺、野鳥の森公園展望台等
地域の緑化活動	天願川の緑化・清掃活動、州崎の海水路でのマングローブ植樹活動等



1. 計画の概要
2. 現況調査
3. 計画課題
4. 緑及緑化び地の目標全
5. 推及緑進び地の緑の方針の全
6. の推及緑進び地策の緑のた化保めの全
7. 地域別計画
8. 配地緑慮区化地・重区保点全
9. 向計け画て実現に
10. 巻末資料

7.1.3 みどりの将来像

みどりの多い市街地と都市生活を支えるみどりのまちづくり

～考え方～

- ・現存するみどりを保全するとともに、区画整理や新たな公園等の整備により、みどりの多い市街地を創出します。
- ・天願川等の河川、井泉、海岸等のみどりを保全し、快適な都市環境を形成します。

みどりの将来像

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・住みたい街として選ばれるためには、子育てしやすい環境のほか、安全・安心で学習活動につながる公園が必要だと思う。

7.1.4 みどりの方針

みどりの特性を踏まえて、みどりの将来像を実現するため、具志川地域のみどりの方針を示します。

(1) 守る

①都市構造の骨格となるみどり（樹林地・山林・水面）の形成

- ・下原地区の斜面緑地帯、点在する自然緑地や、天願川、ヌーリ川等の水辺は、生物多様性を育む自然環境であるとともに、防災面や景観保全の観点からも大切なみどりです。河川改修などを促進し、水辺環境を保全・再生します。



②優れた農業環境としてのみどり（民有林、保安林、農地）の保全

- ・ピーグ田（い草田）、水田、兼箇段の電照菊畑等の農地は地域の田園風景として保全・活用します。

③都市環境を守るみどり（地域制緑地等）の保全

- ・地域制緑地（安慶名地区の地区計画）をはじめ、公共施設緑地や風致公園としての港原海浜公園を整備します。

④快適な生活環境を守る多様性に富んだみどり（都市公園等）の保全・創出

- ・公園の不足する地域では、新規公園としての街区公園、近隣公園を整備します。

⑤生物多様性を保全するみどりの保全

- ・ウミガメ産卵地となる海岸部や多様な生物が生息する河川周辺のみどりは、生物の生息環境に配慮して保全します。

⑥河川等の水辺の水質改善

- ・天願川、川崎川、ヌーリ川、米原川等の水辺は、自然とのふれあいの場として保全を図るとともに、環境に配慮した利用に資する整備が必要です。

守る

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・前原高校の近くのみどりは良いと思う。
- ・民家の灯りが水面に映るほどのきれいな水（ヌーリ川・天願川）を守りたい。
- ・天願川の上流（山城ダムの近く）がヘドロ状態になっているのを改善したい。
- ・石川地域からつながる楚南川上流はかつて水田地帯だった。かつての状態にできると良い。
- ・約 1.5 kmヌーリ川の桜並木が続く。
- ・緑や川の中の生き物を観察できる場所を守りたい。
- ・石川地域からつながる小さな川を守りたい。（かつては泳げる川だった。）
- ・クワガタが好きなので、クワガタの生息する植物を公園内（野鳥の森公園等）に植えるといい、増やしていきたい。
- ・樹種を混ぜると良いこともあると聞くので、そういった研究が欲しい。

(2) 育てる

①自然災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・管理

- ・下原地区の斜面緑地帯などの崖線のみどり、沿岸部のみどり、天願川、川崎川、ヌーリ川、米原川等の水辺のみどりは、防災・景観の観点から保全・整備を図ります。

②都市災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・形成

- ・本庁通りのハウオウボク並木道、具志川商業高等学校前のアカギ並木道等、地域住民に親しまれている街路樹は、景観を形成し、都市災害を防止、緩衝するみどりであります。防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置します。



商業高等学校前のアカギ並木

③避難体系を構成するみどりの形成

- ・地震や風水害時に災害から人命を守る避難地や防災活動拠点となる公園・緑地を確保します。また、各拠点につながる安全な避難ルートの確保に努めます。

④日常圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（健康増進、交流）

- ・身近な公園は、地域コミュニティの拠点となる場所づくりを図ります。

⑤広域圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（観光）

- ・具志川運動公園や野鳥の森公園、河川、海岸などのみどり、民間施設緑地（ゴルフ場）などは、快適に利用できるよう適切な維持管理を図ります。

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化び地の目標保全

5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全

6. の推及緑進び地策の緑のた化保め全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計け画て実現に

10. 巻末資料

⑥自然とのふれあい・交流の場となるみどりの保全・活用（自然・海岸・海浜の利活用）

- ・天願川、川崎川、ヌーリ川、米原川等の水辺や、具志川ビーチ、宇堅ビーチ等の海岸は、自然とのふれあいの場として、環境に配慮した上で、利用に資する整備を検討します。

育てる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・桜祭りに必要な苗木は、助成や寄付によるものであり、ヌーリ川の桜並木は「桜を守る会」が維持管理している。2月には桜巡りイベント等を開催している。
- ・フクギは染料、化粧品、食料としても利用されていた。

(3) つくる

①郷土景観となるみどりの形成

- ・地域の魅力ある集落景観であるフクギ屋敷林や集落背後林等の保全を図り、郷土景観を形成します。
- ・地域のシンボルとなる樹木は、保存樹制度の活用等により地域住民と協力して維持・保全を図ります。

②都市景観を創出するみどりの魅力向上

- ・都市公園、河川、公共施設緑地、沿岸部のみどりやビーチ、斜面緑地帯、農地、御嶽、井泉やグスクなどは、地域の魅力ある都市景観を形成するみどりとして保全・創出を図ります。

③優れた眺望点の利用促進

- ・喜屋武マープ公園、上江洲古島遺跡周辺、野鳥の森公園展望台等の高台から見る集落や海を望む優れた眺望点の利用促進に努めます。



野鳥の森公園からの眺望

④歴史文化を伝えるみどりの保全・形成

- ・安慶名城跡、田場ガー、太田坂、旧天願橋、安慶名闘牛場等は、地域と協働で環境整備や維持・保全を図り、地域資源として活用します。

⑤河川、海岸における美化及び整備の推進

- ・森林や天願川、川崎川、ヌーリ川、米原川等の水辺のみどり、都市公園、公共施設緑地などのみどりは、水鳥や昆虫等の生物生息地となっています。これらのみどりは、地域住民による緑化・清掃活動が行われています。地域住民とともに緑化・清掃活動や多様なイベントを開催し、地域資源として活用を図ります。

⑥住民参加・県民運動による緑の美ら島づくり

- ・地域の住民参加による、身近な緑地環境の創出・保全活動を通じて、みどりの美ら島づくりの活動を推進します。

つくる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・前原高校から宇堅の通りについては、沿道の緑を活かし、エイサーが映える通りにするといいたいと思う。
- ・海沿いには古民家が多い。その雰囲気を残したエイサーが映える緑づくりをすると良い。そのために、在来種を活用すると良い。
- ・みどり町の並木は通りによって特徴があって良い。
- ・みどり町全体の並木に統一感をもたらしても良いと思う。

(4) 広げる

① 公民連携による公園整備・公園等への市民協働による適切な緑化の推進

- ・民間企業やまちづくりの取組を担う組織・団体と連携して、まちの賑わいに寄与する公園として、整備・管理運営・活用を進めます。

② 学校等の公共施設や身近なみどり、街路樹などの継続的な管理の推進

- ・自治会、地域住民等で組織される多くの緑化団体が意欲的に活動しています。これらの活動の場は、地域コミュニティづくりに寄与しています。活動団体とボランティア・関係機関・行政等による協働体制を構築し、適切な役割分担により、河川緑化・沿道緑化・清掃活動等を継続的に取り組みます。
- ・地域が愛着を持って育てていけるような愛護団体登録制度等の仕組みを検討し、地域や関係機関との協力のもと、適切な維持管理に努めます。

広げる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・ヌーリ川で祭りが開催されると、お客さんを迎えるために清掃活動を行っている。お客さん呼び込むことは緑の維持管理につながっている。さらに、道路を行政が補修してくれるという良い流れが生まれる。
- ・地域のみどりに対する意識向上に向けて、教育や子どもを含めた地域による掃除が大事である。

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化び地の目標全

5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全

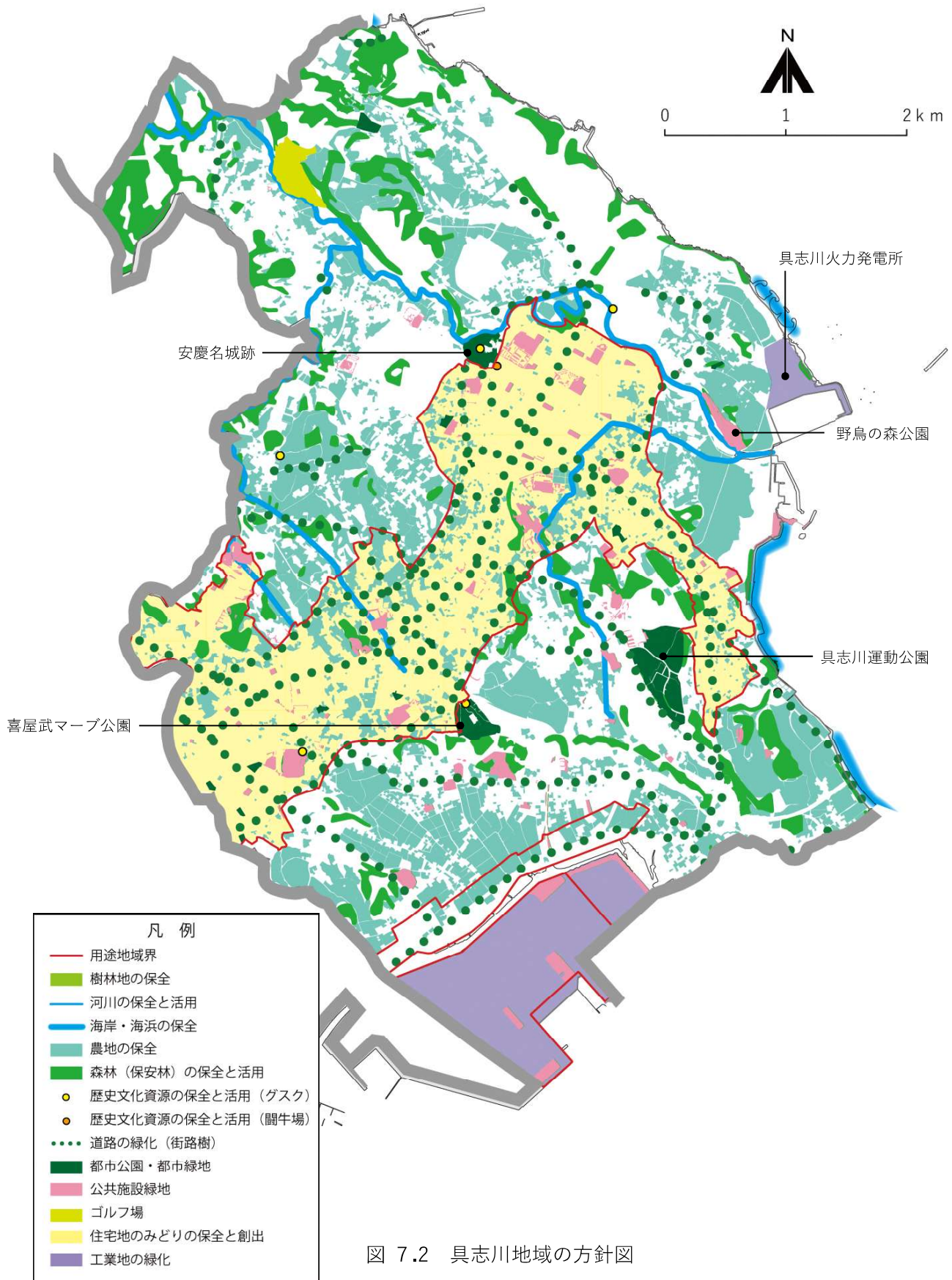
6. の推及緑進び地策の緑の方化保め全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計画て実現に

10. 巻末資料



7.2 石川地域のみどりの方針

7.2.1 地域の現況

【概要】

石川地域は、石川岳などの山地部と金武湾の海岸線などに囲まれています。これらのみどりは、都市構造の骨格となるみどりを形成しています。

地域には天願川、石川川、肥前川などが流下し、農地や丘陵地があります。市街地や集落は、金武湾から石川バイパス間に形成されています。



【みどりの現況】

石川岳をはじめとする緑地、金武湾の海岸線、地域を流れる石川川等の河川、市民の森公園（石川岳）や石川高原展望台、山城ダムなどの自然の中にある施設、伊波城跡等の高台からの眺望、山城の茶畑等の昔からの営み風景等が存在します。

土地利用の状況は、農地の利用が最も多く26.5%となっており、自然的土地利用が54.1%に対して、都市的土地利用が45.9%となっています。

公園・緑地は都市公園が24.95ha、公共施設緑地が5.00haとなっており、一人当たり公園面積は12.55㎡/人となっています。

市全体のみどりの総量に対する割合は、都市公園が4地域の中で2番目に多く、公共施設緑地は3番目に多くなっています。

表 7.3 公園・緑地の状況（石川地域）

項目	都市公園 (最大(供用))	公共施設緑地 (その他の公園)	一人当たり 公園面積	人口 (令和2年国勢調査)
石川地域	24.95ha (25.05ha)	5.00ha	12.55㎡/人 (12.59㎡/人)	23,869人
市全体のみどりの 総量(3721.88ha) に対する割合	0.670% (0.67%)	0.134%	-	-

※市全体の一人当たり公園面積12.07㎡/人(令和2年(2020年))

出典：都市公園：(最大：未開園面積含む)うるま市資料(令和4年7月28日現在)、うるま市公園整備プログラム(平成27年3月)、公共施設緑地：うるま市公園整備プログラム(平成27年3月)、うるま市資料(令和4年7月28日現在)

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化び地の目標

5. 推奨緑地の方針

6. 推奨緑地の方針

7. 地域別計画

8. 配地緑化地区

9. 向け画て実現に

10. 巻末資料

7.2.2 みどりの特性

基本方針（「守る」「育てる」「つくる」「広げる」）に基づき、みどりの特性を示します。

【守る】

- 石川岳、石川川等の生物多様性を育む自然環境が存在します。（生物多様性）

【育てる】

- 石川公園、市民の森公園、石川多目的ドーム（闘牛場）周辺、ビオスの丘、ゴルフ場等の観光やまちづくりと連動したみどりが特徴です。（観光レクリエーション）

【つくる】

- 伊波城跡、闘牛場、石川高原展望台等のこれまで培われてきた歴史文化や美しい景観などの個性豊かなみどりがああります。また、市道石川西線のフクギ並木道や市民の森公園、学校施設や発電所等の緑化空間などのまちの魅力を高めるみどりがつくられています。（景観・歴史文化）

【広げる】

- 石川川やイッペーの森等は、住民などによる清掃活動やイベントが開催され、地域コミュニティの醸成、市民や来訪者の交流、憩えるみどりとなっています。（市民協働・意識啓発）

みどりの特性

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

「学び」

- ・ 子どもたちの自然観察場所（虫、鳥）

「生き物とのつながり」

- ・ 緑は生態系のベースであり、多様性を持っている中で緑に生き物（虫、鳥など）が集まり、食物連鎖につながっている。

「リフレッシュ機能」

- ・ 緑はなごむ、落ち着く、憩いの空間や遊べる場となり、心が安らぐ、季節を感じられる。

「環境」

- ・ 緑には酸素の生産、二酸化炭素の吸収、気候を緩和、熱気を遮る役割がある。
- ・ 持続可能な環境に向けて緑はベースになる。緑がなければ人類は滅びると思う。

表 7.4 主なみどりの資源（石川地域）

項目	主なみどりの資源
樹林地	石川岳
農地	山城の茶畑等
河川	天願川、石川川、肥前川、ユマサ川、楚南川
海岸・海浜	金武湾の海岸・海浜、石川ビーチ
歴史・文化	伊波城跡、伊波貝塚、嘉手苅観音堂、東恩納闘牛場等
屋敷林	フクギ屋敷林（石川1・2丁目、伊波等）、伊波小学校のガジュマル等
おきなわの名木百選	クーガー（ウブガー）のガジュマル
道路（街路樹）	山城のサワフジ通り、市道石川西線のフクギ並木道等
公園・緑地	石川公園、市民の森公園、伊波公園等
民間施設緑地	ビオスの丘、ゴルフ場
施設緑化（公・民）	庁舎、学校教育施設、発電所、リゾートホテル等
良好な眺望点	伊波城跡、石川高原展望台、市民の森公園展望台等
地域の緑化活動	石川川の緑化・清掃活動、イッペー通り・イッペーの森の植樹活動等

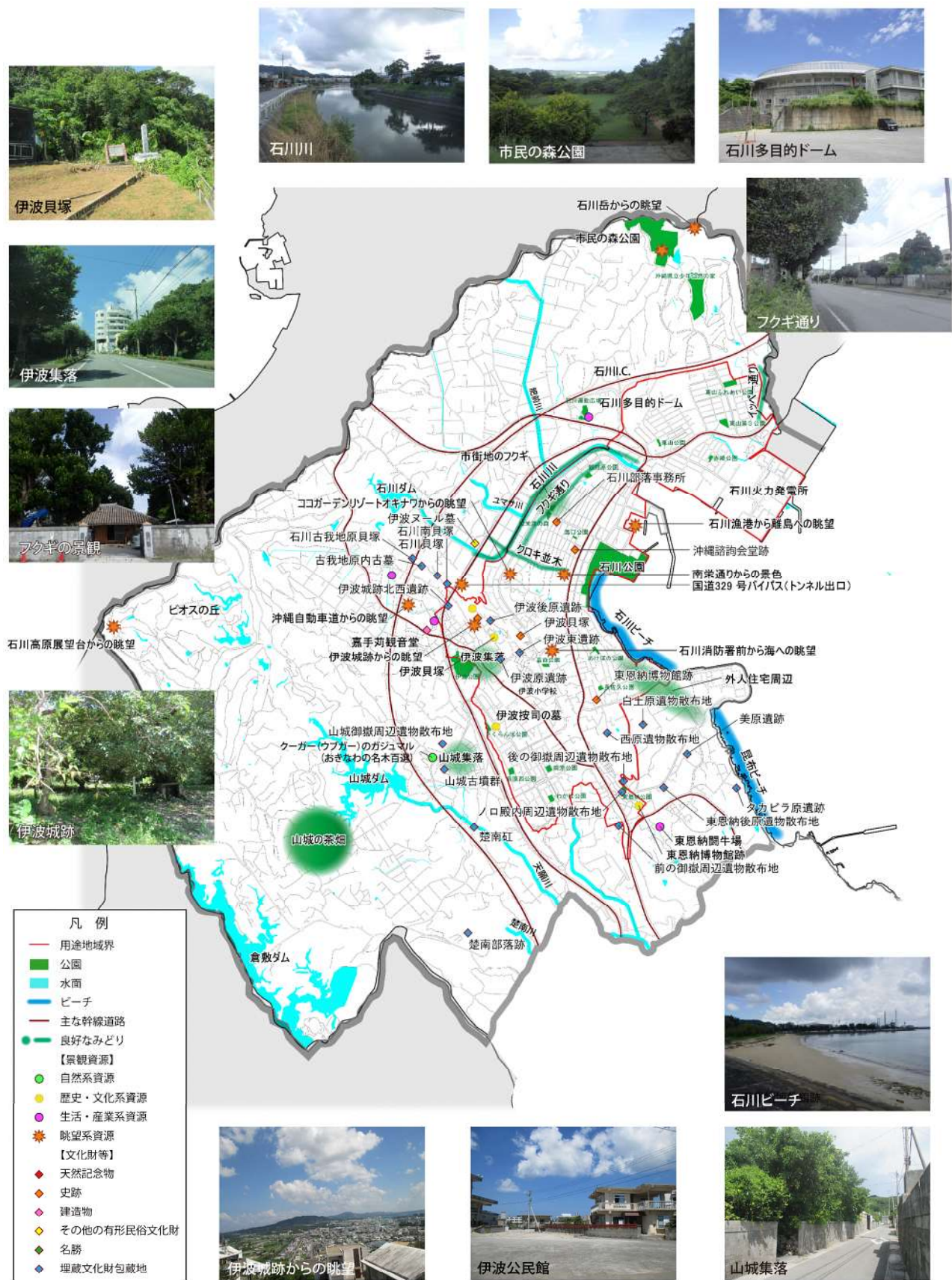


図 7.3 石川地域の現況特性図

7.2.3 みどりの将来像

骨格を形成するみどりの保全と市街地環境を改善するみどりのまちづくり

～考え方～

- ・市街地を取り囲む石川岳、保安林等の森林、山城ダムや倉敷ダムなどのみどりは都市構造を形成するみどりであり、多様な生物の供給地となっています。これらのみどりを保全・活用し、市街地の環境保全に資するものとします。
- ・ビオスの丘や民間施設緑地（ゴルフ場）などの観光レクリエーション施設は、適切な保全管理や利用を進めます。

みどりの将来像

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・女の子が生まれたらセンダンの木を植え、その子が結婚する時に一緒に育てたセンダンを渡すという言い伝えがある。そのような歴史的、文化的な植物を引継ぎたい。

7.2.4 みどりの方針

みどりの特性を踏まえて、みどりの将来像を実現するため、石川地域のみどりの方針を示します。

(1) 守る

①都市構造の骨格となるみどり（樹林地・山林・水面）の形成

- ・石川岳等や前原風致地区などの都市構造を形成するみどりの保全を図ります。
- ・みどりに囲まれた山城ダムや倉敷ダムなどのダム群は、周辺緑地と水面の環境保全を図ります。

②優れた農業環境としてのみどり（民有林、保安林、農地）の保全

- ・山城の茶畑に代表される農地などは、市街地を囲むように広がっており、のどかな田園風景を形成しています。地域の原風景として保全・活用に努めます。

③都市環境を守るみどり（地域制緑地等）の保全

- ・保安林、河川、文化財などのみどりは、都市環境の改善に資するみどりとして継続的に保全・活用します。

④快適な生活環境を守る多様性に富んだみどり（都市公園等）の保全・創出

- ・生活の身近にある都市公園等のみどりは、都市の快適で潤いある生活環境を形成する貴重な資源として、安全性等に配慮した適切な管理により、維持していきます。

⑤生物多様性を保全するみどりの保全

- ・ウミガメ産卵地となる海岸部や河川周辺のみどりは、生物の生息環境に配慮し保全します。

⑥河川等の水辺の水質改善

- ・石川川、肥前川は、市街地を取り囲むように流下し、金武湾に流出しています。これらの河川は多様な生物生息生育地及び地域の環境を形成するみどりとして保全します。
- ・河川沿岸は、遊歩道が整備され、地域住民による緑化・清掃活動が行われています。地域との協働により、市民の憩いの場の創出、良好な河川環境と遊歩道の維持管理に努めます。



守る

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・石川岳の森林、湧水、山城周辺の森林（北部の山林）、天願川上流域の森林
- ・木登りや自然なブランコとして遊べるガジュマル、福地川（石川赤崎）にある市の花であるサンダンカ、デイゴ、河川沿いのみどり（河畔林）、フクギ並木、並木のトンネル、楚南の水田跡（復活）、実のなる木（ヤマモモ、レイシ、ゴレンシ（スターフルーツ）、柑橘類、フクギ等）、石川川の遊歩道沿いの緑、個人宅で育てた庭にあるみどり、季節を感じられる緑（桜など）、陰になるみどり（クスノキなど）、木のなる実の小鳥が集まるみどり

(2) 育てる

①自然災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・管理

- ・防風林の役割を果たすフクギの屋敷林は、防災・景観の観点から保全を図ります。

②都市災害の防止・緩衝としてのみどりの保全・形成

- ・都市公園や市街地を流下する河川は、都市災害を防止・緩衝するみどりとして保全します。
- ・防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置します。

③避難体系を構成するみどりの形成

- ・地震や風水害時に災害から人命を守る避難地や防災活動拠点となる公園・緑地の確保とともに、各拠点につながる安全な避難ルートの確保に努めます。

④日常圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（健康増進、交流）

- ・都市公園や広場などは、身近な地域コミュニティの拠点として適切に保全・活用します。

⑤広域圏のレクリエーションの場となるみどりの保全・活用（観光）

- ・石川公園や伊波公園等の既存公園は、快適に利用できるよう地域住民や関係機関との協働により適切に維持管理を図ります。
- ・石川岳や市民の森公園は、展望台からは太平洋及び東シナ海の眺望点があり、市民や来訪者が安全に楽しく自然環境に親しめるよう安全対策の充実、施設の改善による利便性の向上に努めます。
- ・民間施設は、工場緑化や観光振興に寄与するリゾートホテルの緑化等、施設の特性に応じた緑化・維持を誘導します。



⑥自然とのふれあい・交流の場となるみどりの保全・活用（自然・海岸・海浜の利活用）

- ・伊波城跡及び伊波貝塚などは、周辺の自然環境や生態系を保全しつつ歴史公園としての検討を進め、市民及び来訪者の憩い・交流の場、観光・レクリエーション拠点としての有効活用を図ります。
- ・伊波城跡及び伊波貝塚などの歴史資源は、できる限り外来種の駆除を進め、歴史的な物語性等に配慮します。

育てる

第2次うるま市みどりの基本計画策定に向けたワークショップより

- ・イPPER通りでイPPERの木を育てている。
- ・台風に強い樹木を植えると良い。
- ・オオゴマダラ（市の蝶）が集まる草花を植えて、子どもの観察（理科の授業など）で活用すると良い。みどりに集まるホウライカガミ（蝶）は学校の学習に活かすと良い。
- ・子どもがたくさん集まる場にみどりを増やすと良い。

(3) つくる

①郷土景観となるみどりの形成

- ・石川 1・2 丁目、伊波や東恩納等の集落内に残るフクギ屋敷林などの昔ながらの景観を保全し、郷土景観を形成します。
- ・山城ウブガーのガジュマルや伊波小学校のガジュマル等の地域のシンボルとなる樹木は地域住民と協力して保全します。また、地域のシンボルである赤崎の一本松の復元を検討します。

②都市景観を創出するみどりの魅力向上

- ・ イッペー通りは、地域ボランティア団体による植栽・維持管理が行われ、みどりのある沿道景観が形成されています。地域には、山城のサワフジ通りや市道石川西線のフクギ並木道等の美しい街路樹に彩られた沿道景観があり、今後も街路樹を整備するとともに、地域が愛着を持って育てていけるよう道路樹木等管理会の活動を支援し、地域や関係機関との協力のもと、適切な維持管理に努めます。



フクギ並木

③石川 IC 周辺の交流拠点形成

- ・ 地域の賑わい創出や観光振興に資する拠点を形成するため、石川 IC 周辺に立ち寄りのきっかけとなる道の駅等の集客施設の整備とともに、公園機能の拡充も検討いたします。

④優れた眺望点の利用促進

- ・ 伊波城跡、太平洋及び東シナ海が望める石川高原展望台と市民の森公園展望台等の高台から見る集落や海を望む壮麗な眺望の保全に努めます。



市民の森公園からの眺望

⑤歴史文化を伝えるみどりの保全・形成

- ・ 集落に残る井泉（東恩納のハチジャー、伊波メヌカー、嘉手苧ガー等）や伊波城跡、伊波貝塚、嘉手苧観音堂、嘉手苧のヌチシヌジガマ、各集落にある拝所等の地域の歴史文化資源及び周辺環境は、地域との協働で環境整備や維持管理を行い、保全を図ります。
- ・ 伊波闘牛場及び東恩納闘牛場は、周辺を含めた環境整備により、地域の農村伝統文化の場として保全・活用を図ります。



伊波城跡

⑥河川、海岸における美化及び整備の推進

- ・ 白い砂浜が残る石川ビーチなどの金武湾に面する海岸沿いは、海辺に親しめる空間形成の保全に努めます。

⑦住民参加・県民運動による緑の美ら島づくり

- ・ 地域の住民参加による、身近な緑地環境の創出・保全活動を通じて、みどりの美ら島づくりの活動を推進します。

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化び地の目標

5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全

6. の推及緑進び地策の緑の方化保め全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計画て実現に

10. 巻末資料

- ・本市を象徴するような地域色のある草花を植えると良い。
- ・緑のトンネルになるような樹木があると良い。よく通る道に樹木を植えると良い。
- ・市役所周辺などに低木で年中花が咲くみどり（サンダンカなど）を植えると良い。
- ・変化があるみどり、管理がしやすい花、子どものためになるみどりを植えると良い。
- ・デイゴを復活させたい。川沿いの桜を増やしていきたい。イッペーの木は台風に弱いため何度も植えることになるが、イッペーの木を広げたい。
- ・地域ごとに植える木を決めることも考えられる。

(4) 広げる

① 公民連携による公園整備

- ・民間企業やまちづくりの取組を担う組織・団体と連携して、まちの賑わいに寄与する公園として、整備・管理運営・活用を進めていきます。

② 公園等への市民協働による適切な緑化の推進

- ・各自治会、地域住民等で組織される緑化団体が意欲的に活動しています。地域住民や関係機関と行政等による協働により河川緑化・沿道緑化・清掃活動等を継続的に取り組みます。

③ 学校等の公共施設や身近なみどりの継続的な管理の推進

- ・住民との協働で公園の管理を図り、地域コミュニティの核としての利活用を進めます。
- ・地域参加型による多様な緑化手法を検討し、公共施設緑化を進めます。

- ・個人の庭をきれいにすることで、周辺の道もきれいになると思う。
- ・地域でみどりの取組を進める必要がある。管理意識を持つことが大切と考える。
- ・みどりを守るためには、自治会やボランティアの活動も大切である。
- ・地域のみどりを守るためには、市の助成や支援（水、肥料等）があると助かる。

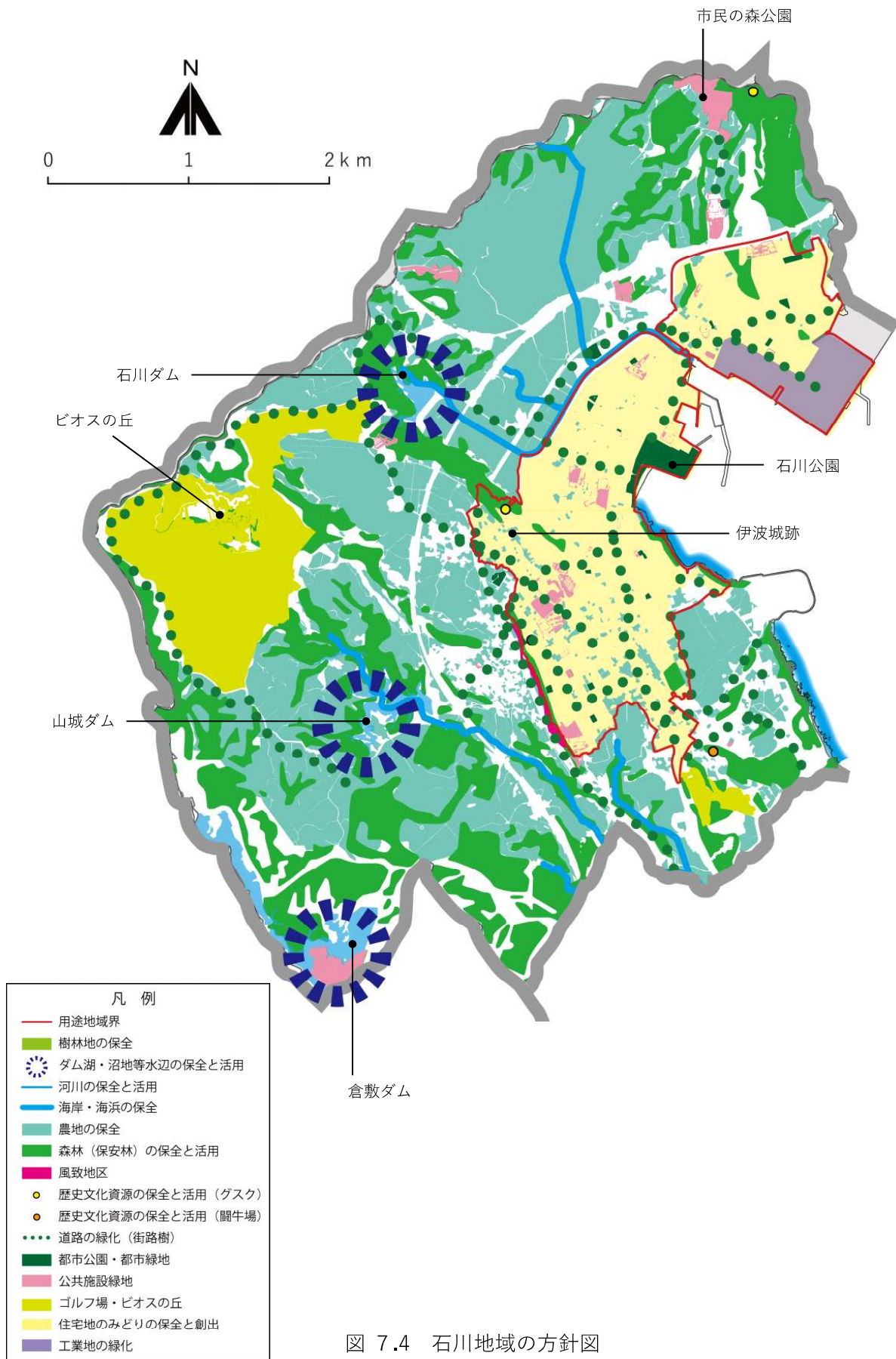


図 7.4 石川地域の方針図

- 1. 計画の概要
- 2. 現況調査
- 3. 計画課題
- 4. 緑及緑化び地の目標
- 5. 推及緑進び地の緑の方針の全
- 6. の推及緑進び地策の緑の方針の全
- 7. 地域別計画
- 8. 配地緑慮区化地・重区保点全
- 9. 向計け画て実現に
- 10. 巻末資料